

## 第 2 回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

〔日 時〕 平成 3 0 年 1 0 月 2 6 日（金） 午後 5 時 3 5 分～午後 7 時 0 5 分

〔場 所〕 府中市役所 北庁舎 第 1 ・ 2 会議室

〔出席者〕 委 員（五十音順・敬称略）

井上 郁子、近藤 愛、櫻井 誠、志水 清隆、高野 佳子、

濱中 重美、堀江 一男、丸山 悦子、渡邊 信

事務局等

遠藤政策総務部長、赤岩職員課長、菅職員課長補佐、

伊藤人事係長、川越主任、大山主任

遠藤教育総務課長補佐、青木監査事務局長、

大井議会事務局庶務課長、関根議事課長

〔会議経過〕

1 開 会 会長の司会により開会。

2 議 題

(1) 追加資料説明

(2) 審議・質疑

（質 疑） 別紙参照

(3) 今後の会議日程

(4) そ の 他 事務局（人事係長）より、前回の会議録について修正事項の有無の確認及び公開の手続きについて説明があった。

(1) 追加資料

（会 長） 事務局から追加資料の説明をお願いします。

（事務局） （前回の審議会において依頼のあった前回の答申等、追加資料について説明）

(2) 審議・質疑

（会 長） 事務局から補足説明があればお願いします。

（事務局） これまでの審議会において議論となった点についてですが、大きく4点です。1つ目は現在の日本経済の状況と府中市の財政状況、2つ目は特別職の報酬等の改定の推移と一般職員給与改定の推移、3つ目は市長・副市長・教育長・常勤監査委員の職責、議員の議会以外を含めた活動の内容、4つ目は人口や財政力などが類似した団体と比較した場合のバランスであります。この4点をどのように考え、判断するかが大きな論点でありました。

（会 長） 事務局からこれまでの審議会における論点が4点示されました。これらも参考としながら審議に入りたいと思います。ご質問・ご意見ををお願いします。

（委 員） 追加資料3について、平成30年度一般会計予算の減少理由が記載されていますが、ふるさと納税が理由であることは、新聞報道等されていたこともあって想像通りでした。税制改正により、地方消費税交付金が減少しているようですが、平成29年度の改正内容が平成30年度予算に影響したという理解でよろしいでしょうか。

また、来年消費税が10%に上がることの影響は何かありますか。

（事務局） 税制改正の時期については、改めて確認させていただきますが、その改正内容が平成30年度予算に影響したということは、ご指摘のとおりでございます。また、消費税が10%に上がることの影響については、消費税が上がった分、一定程度歳入が増えることが考えられますが、昨今の報道でも新たな制度の原資にするということが言われておりますので、その影響が交付金の額に影響することが考えられます。

（委 員） 府中市の市議会議員の活動状況の資料についてですが、農業委員会の活動の項目は、今後なくなるという認識でよろしいでしょうか。

（事務局） ご指摘のとおり、議会選出が廃止されましたので、今後この項目はなくなります。

（委 員） 前々回の見直しの際、「引下げ」の結論に至った理由を教えてください。

ださい。

(事務局) 当時の社会経済情勢や市民感情、平成 8 年度から平成 22 年度の一般職の給与改定率などを考慮し、「引き下げ」が適当であるとする答申でした。

(委員) 現在の府中市の財政状況は、端的に言うと近隣市と比較してどのような状況なのでしょう。

(事務局) 財政力指数や経常収支比率等から申し上げますと、決して油断できる状況ではありませんが、一時期の危機的な状況から比べれば、少し安定してきたと考えております。

(事務局) 一部補足させていただきます。基金や資産の状況からみても、財政的に健全な状況は確保できております。しかしながら、本市が多く抱えている施設は老朽化が進んでおります。また、下水道、道路関係、学校施設などのインフラ整備も必要な状況となっており、今後は、施設やインフラの老朽化対策等も考えていかなければならない状況でございます。

(委員) 今の話の中でもありましたが、近年、環境が変化してきており、台風・豪雨が多い状況等があると思います。これらの予測困難な対応に要する経費や学校施設の老朽化対策等の経費も念頭において考えていく必要があると感じております。

(委員) 生活保護費等の民生費が今後増える見込みはありますか。

(事務局) 追加資料でお配りしました平成 30 年度の予算の状況を見ますと、民生費は、歳出合計に対する構成比が 50 % を超えている状況です。今後も高齢化の影響等を受け、社会保障関係費は伸びていくのではないかと考えております。

(委員) 高齢化の影響で、医療や介護に要する費用は伸びていくことになると思われますが、伸び率がどの程度になるかは予測が困難な状況です。

(委員) 商店街の状況としましては、大型店舗が出店してきているので、厳しい状況があります。また、消防団等の活動においても予算が削減されている現状がありますので、財政状況は、厳しいという感覚をもっています。他市との比較でみると、副議長の順位だけが低いと感じますが、各役職の業務量に対して、現在の金額の妥当性がまだ判断できない部分がありますので、検討していきたいと考えます。

(委員) 自治会の立場で話をさせていただきますと、現在の自治会費は、1 世帯あたり 20 円と決めて運営をしております。これを引き上げるべきとの意見は出ておりますが、引き上げるならと辞めたいという意見が多く出るため、引き上げが困難な状況です。そのような中、行政からの補助を受け、運営しているところで、消費税が 10 % に引き上げられるとなると更に状況は厳しくなると思われます。このような状況を踏まえ、一般論とし

ては、「引き上げられては困る」という意見になるのではないかと思います。

(会 長) その他に、「上げるべき」、「下げるべき」といった意見はありますか。

(委 員) 個人的には、「上げてもいい」と考えます。

(委 員) 感覚としては「据え置き」の意見をもっています。ここ1、2年、確かに景気は上がっていると思います。ただし、利益が出ている会社も固定給ではなく、臨時的な手当として支給しているケースがほとんどです。この先の景気は、不透明であると考えている経営者が多く、特にオリンピックを目途に考えられていることが多いようです。現在の利益は、一時的な可能性があるという市民感情も踏まえると、「据え置き」が妥当なのではないかという意見です。

後は、役職間のバランスがあると思いますが、一部の役職のみ「引き上げ」というのは、難しいと考えます。

(委 員) 一般市民としての率直な意見として、特別職等の現状の給料が低いとは思いません。報道等で景気が良くなっていると言われていますが、生活の中でそれは感じません。また、災害対策等考えると、財政的な余裕がないのではないかと考えます。例えば、ふるさと納税の影響で歳入が減少しているとの説明が先ほどありましたが、そのことに対する具体策はあるのでしょうか。そのようなものがないのであれば「引き上げ」は難しいと考えます。

(事務局) ふるさと納税については、返礼品が受け取れるシステムとして世間で賑わっておりますが、ふるさと納税だけで100億円の収入を上げた団体もあるという報道がありました。

これに対し、総務省も返礼品に厳しい基準を設ける対応を行ったため、今後は不透明な状況でございますが、現在、ふるさと納税が原因で本市の税収が減っているのは、事実でございます。その中で、本市の取組としては、競馬場への招待券やサントリーのビール、府中産の野菜等を返礼品としている状況でございます。

(委 員) 府中市の人口規模や発展状況から考えると、他市との比較でもう少し特別職の給料が高くていいように感じます。人口規模の小さい自治体とほとんど給料の差がない理由がわかれば教えてください。

(事務局) 各団体の特別職の給料については、以前から本市と同様に各団体において特別職報酬等審議会で見解を聞いた上で、決定してきている経緯があります。各団体におけるこれまでの積み上げになりますので、具体的な理由をはっきり申し上げることは困難ですが、一般職員で考えますと、財政状況に差があったとしても、都内の市は基本的に東京都職員に準じた給料体系となっております。

また、人口規模の小さい団体の特別職の公務が、本市と比べ著しく少ないということもないと思いますので、これらを勘案しますと給料の金額にそれほど差が出ないものと考えます。

(委 員) 府中市は助成金等で市民への還元ができていることも考えると、特別職の給料は、「引き上げ」でもいいと感じます。

(会 長) 様々な意見が出てきましたが、そろそろ方向性に関する具体的な意見があればお伺いしたいと思います。もう少し、議論をしてからでなければ意見が決められないということであればそういった意見でも結構です。

(委 員) 今の商店の人たちの様子を見ていますと、様々な活動を行う中で財政的な補助はあっても持ち出しは発生している状況です。そのような点を考えると、特別職の給料を「引き上げる」という雰囲気ではないのではないのかという意見です。個人的なことを言えば、財政状況に余裕があるのであれば引き上げてもいいと思いますが、予算の税収等の状況をみると「据え置き」が妥当なのではないかと考えます。

(委 員) 資料6の民間の平均給与の金額は、規模の大きい企業のデータになっており、比較対象として適切かどうか疑問に思うところがありますが、もう少し小規模の企業を含めた比較資料の準備は、困難ということでしょうか。

(事務局) 本来であれば府中市内の事業所の平均給与の資料等もあればいいのですが、そのような資料を持ち合わせてないこともあり、都や国が一定基準のもとに実施している調査結果を資料として出させていただいております。その中で今回は、都内事業所に対する調査の結果として、東京都人事委員会勧告の数値を出させていただいているところです。

(委 員) 市長の対外的役職の資料についてですが、新たに加わった役職についてわかるようにしていただいておりますが、2年前と比較し、減った役職があるのかどうか。また、他団体と比べ、この役職数は多いのかどうかかわからないので、判断が難しいと感じます。

(委 員) 資料16-2で市長とその他の役職の格差を見ていくと、議長・副議長を引き上げてもいいと思いますが、議員の活動状況がわからないため、引き上げる理由が見つかりません。そのため、結論としては、「据え置き」が適当であると思います。

ただし、府中市において、報酬を理由に議員の立候補者が出ないというようなことがあれば検討は必要だと思います。

(委 員) はっきりと「引き上げるべき」と判断できる資料が今のところないと思います。また、名誉職という側面もあるため、他団体と比較し順位が低いから引き上げるという性質のものでもないのではないかと考えています。具体的に、市長等の活動状況で増えた

活動の数等がわかる資料があれば、その資料を確認してから判断した方が賢明であると考えます。

(事務局) 全ての特別職の活動状況や個々の議員の活動状況の詳細の資料は存在しないため、資料としてご用意することは困難でございます。

(委員) 資料として存在しないのであれば、評価する対象がないので「据え置き」という結論になると思います。

(会長) 委員の皆さまからいろいろとご意見を賜りました。本日は、時間になりましたので閉会とさせていただきます。次回までに資料を再度確認していただき、本日欠席されている委員さんの意見も交えて次回の審議を進め、結論に結び付けていきたいと思えます。

長時間ありがとうございました。

(3) 今後の会議日程

(会長) 前回決定しましたとおり、11月9日の午後5時30分からこの会場で開催しますので、よろしくお願いします。